

# HSK なんれん

— 臨時号 —

昭和48年1月13日

第三種郵便物認可

HSK通巻第203号

発行 1989年8月10日発

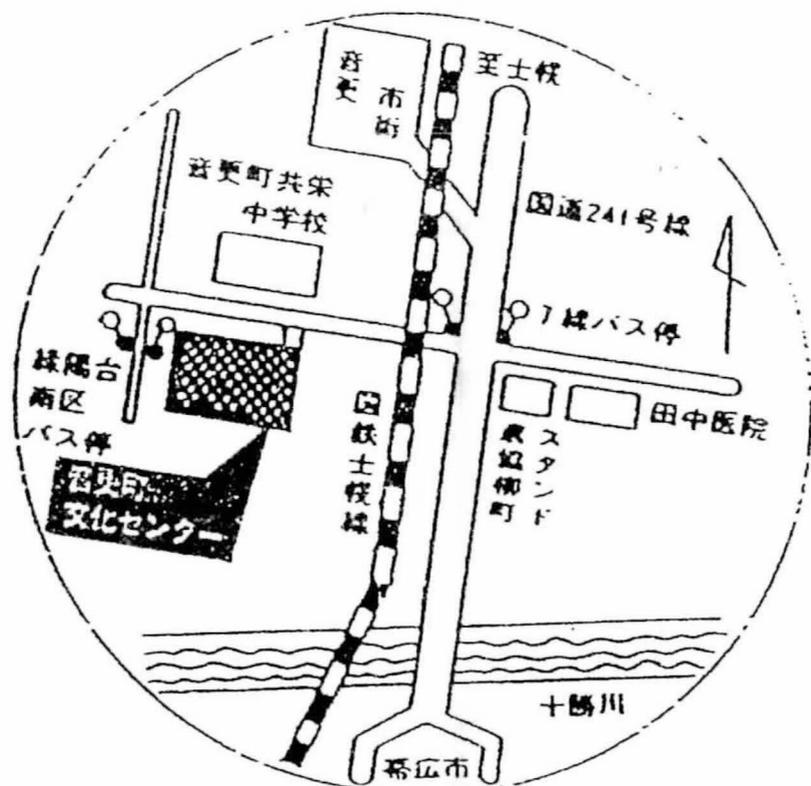
毎月10日発行(1部100円)

編集 財団法人北海道難病連

発行 北海道身体障害者団体

定期刊行物協会

釧路支部版



## 全道集会特集号

# 全道集會情報

・支部長

01547-2-2131・職場

\*\*\*\*\*

## プログラム について

◆ 第一日・八月五日(土)

・札幌・室蘭・旭川・釧路より

ハナック号出発

・一六時四十分・十勝川温泉着

・一八時・・・歓迎の夕べ

(患者交流会)

・二十時・・・分科会

◆ 第二日・八月六日(日)

・九時三十分・・・分科会

音更町文化センター

音更町立共栄中学校

(別表参照)

・一二時・・・全体集會

音更町文化センター

・開会挨拶  
・基調報告

・患者・家族の訴え

・来賓挨拶

・記念講演

・アピール採択

・一五時・・・閉会

・終了後・オアシショナルツアー

然別湖・ロイヤルホテル福原

\*\*\*\*\*

## 参加券 について

◆ 参加費支払済者には『参加券』が発行されます。

◆ 『参加券』は、各事項毎にありますので御確認下さい。

◆ 『参加券』により食事・会場の入場などが出来ます。大事に保管下さい。

\*\*\*\*\*

## 交通機関 について

◆ 『ハナック号』は、札幌・室蘭・旭川、

全道集會に参加される皆さん、当日がもう目の前にやってきました。

楽しく参加出来るよう、『体調には充分注意』して下さい。

当日のプログラム・バスの運行など、『注意点』をお知らせしますので、『必ず目を通して』下さい。

また、『ハナック釧路関係の参加者名簿』も添付してありますので、お互いに声をかけあつて参加しましょう。

なお、特別な状況の変化等がありましたら、下記へ至急連絡して下さい。

・難病連釧路支部事務局

0154-152-4988

0154-151-9220

そして当地・釧路の四ヶ所から発車します。

◆ハナック釧路の運行

・行き

・八月五日 十四時発

釧路市民文化会館裏駐車場より

地元のパス会社を利用

・釧路での乗車人数(二十七日現在)

釧路支部：二十五名

(保健婦・二名含む)

厚岸支部：五名

根室支部：四名

計 三十四名

・白糠での乗車(東家前・一五時)

釧路支部：三名

・自家用車等で参加

釧路支部：六名

根室支部：一名

計 七名

合計 四十四名

・帰り

・八月六日 十六時出発

十九時釧路到着予定

・バスの乗車人員

釧路支部：二十六名

(保健婦・二名・白糠・三名含む)

厚岸支部：一名

根室支部：四名

計 三十一名

◆『参加者名簿』中で、『○印』のついている人が『ハナック釧路号を利用』する人です。×は、自家用車・汽車等を利用する人です。

◆各役員は、バスにおける患者さんのお手伝いに協力下さい。

◆バスの中では、楽しく旅行するために、ゲーム等を計画しています。

◆バスの踏台は、本部で用意します。

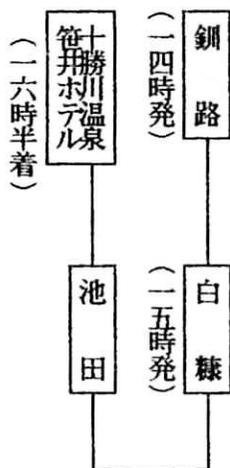
(要返品)

◆帰りは『車中食』を用意します。

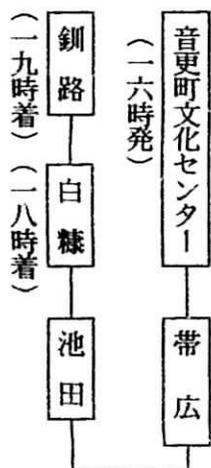
◆帰りは、釧路市民文化会館を経由して釧路駅まで運行してもらいます。

◆『トイレタイム』は『浦幌のドライブイン』でとります。

◆行きの運行：五日



◆帰りの運行：六日



## アトラクションの実施時間

●レセプション時・・・5日

ベアーズ・ハーモニカクインテット

△プロフィール▽

昭和三十年から昭和三十四年にかけて、

全国学生リード合奏コンクールで合奏、独奏に入賞し、帯広柏葉高等学校リード合奏団で活躍した当時のメンバーが中心になって、二十三年後の昭和五十五年八月に『ザ・ニュー・ハーモニカ・ベアーズ・クインテット』を結成した。

昭和五十八年に第一回定期演奏会を開催。その年、全日本ハーモニカコンテストに二位入賞をはじめ、昨年の同コンテストまで上位入賞を四回、全日本ハーモニカ連盟より最も名誉ある、第十回日本ハーモニカ賞を昭和六十二年五月に東京文化会館で受賞。新しいハーモニカ音楽の創造と、その普及と活動が高く評価されたものと言われている。そのグループ名も『ベアーズ・ハーモニカ・クインテット』と改称し、帯広・十勝を中心に他都市での公演など、ハーモニカによる本格的な演奏に好評を得ている。

る。

クロマチック・ハーモニカ奏者の早川健氏は昭和五十九年の全日本ハーモニカ・コンテスト。クロマチック部門でトップとなり、昭和六十年に日本ハーモニカ賞を受賞している。

●全体集会時・・・6日

## 東十狩獅子舞

東十狩の獅子舞のルーツは、遠く開拓の頃にさかのぼります。大人の手による獅子舞保存会がありますが、少年団も昭和六十年に組織されて郷土芸能を引継ぎ、もり立てていくために熱心に活動しています。団員は、小学校四年生以上の男子十八名で構成され、保存会の方々の指導のもと、獅子舞の振付け、おはやしの練習に取り組んでいます。

## 音更バトントワライズ

△プロフィール▽

現在、三才〜小学六年生まで約四十人の女の子たちで毎週木曜日、楽しく練習をしています。音更桜まつり・ハナックフェス

テイバル・あきあじまつり・産業まつり、

そして帯広バトントワライズと合同で、動物園開園まつり・平原まつりなどに参加して、元気いっぱい踊りました。

当日も元気いっぱい、かわいいダンスをしますので応援して下さい。

\*\*\*\*\*

## 分科会

◆分科会は、別表のとおり開催されます。

◆分科会時に、共栄中学校に次の施設を置く

- ・本部・・・校長室
- ・救急班・・・保健室
- ・託児室・・・職補室

◆分科会には、参加者名簿の確認をするため、一部会に二名の『V〇が配置』される。

◆分科会は、各部会の独自性をもって進行する。

◆分科会の写真・録音も『各部会で責任』をもつ。

◆講演会を実施する部会は、『積極的に録音』をとっておく事。

◆全体集会の会場では食事が出来ないのので、『各分科会会場で食事』をする事。

◆腎臓病部会の分科会会場（ふれあいホール）内では食事がとれませんので、ロビーで食事をする事。

◆分科会のない参加者のために、『特別分科会』を設定する。

◆分科会の共栄中学校は『土足厳禁』です。必要な方はスリッパなどを持参下さい。

◆分科会の机の配置は事前にVOが行っています。

・参加者 二十名以上・・・学校方式  
・参加者 二十名以下・・・口の字型

◆分科会の会場は、温泉よりバスで約一五分かかります。（別図参照）

全体集会 について

◆全体集会での来賓挨拶は、『患者・家族の訴え』のあとに行う。

◆記念講演は、

札幌いちご会会長・小山内美智子さん

『障害者と地域生活』の予定です。

その他 について

◆ホテルは、定員＋一名で宿泊します。御容赦下さい。

◆五日・午後五時三十分より、笹井ホテル内・ゲームコーナー（一階）で、朝市ならぬ『地元特産品』の販売を行います。

◆レセプションは、五日午後六時から『一階大宴会場』で行われます。

◆当日のみの参加費は八百円です。

◆泊まりの人数分を、各部会が一人二千円の部会負担金をしてもらう。

（各部会で整理する。）

◆広告・寄付の支部還元金は、二十％です。



第16回難病患者・障害者と家族の全道集會（とがち）  
参加者名簿（ハナツク釧路各関係）

行き・8月5日 釧路市民文化会館駐車場 14時発・・・車中・昼食弁当なし  
帰り・8月6日 上記を経由して釧路駅到着 19時着・・・車中・夕食弁当用意

No	部 会	氏 名	性 別	年 令	バ ス		電 話 番 号	備 考	住 所	参 加 費	部 屋 番 号
					行	帰					
1	腎 小	岩見 邦夫	男	46	×	×		車・一泊		9,800	
2	脊 小	岩見 智子	女	50	×	×		車・一泊		9,800	
3	<del>脊 小</del>	<del>五十嵐信子</del>	<del>女</del>	<del>48</del>	<del>○</del>	<del>○</del>		<del>車・一泊</del>		<del>15,000</del>	
4	<del>脊 小</del>	<del>五十嵐千代子</del>	<del>女</del>	<del>49</del>	<del>○</del>	<del>○</del>		<del>車・一泊</del>		<del>15,000</del>	
5	あすなろ	片山サナエ	女	47	○	○				15,000	
6	パーキンソン	大内 神助	男	47	○	×		2泊・帰JR利用		22,000	
7	膠原病	鈴木 裕子	女		○	○				15,000	
8	膠原病	渡辺小夜子	女		○	○				15,000	
9	膠原病	石垣サトエ	女		○	○		現地で車イス用意		15,000	
10	リウマチ	石井 春恵	女	64	○	○				15,000	
11	リウマチ	高橋 淑子	女	45	○	×		帰りJR		12,000	
12	リウマチ	大貫 勇	男		×	×		車・一泊		9,800	
13	リウマチ	岩崎 洋子	女		○	○				15,000	
14	リウマチ	木村紀美子	女		○	○				15,000	
15	パージャー	石井 彰	男		○	○				15,000	
16	ペーチェット	遠藤 源司	男		○	○				15,000	
17	腎臓病	佐藤征一郎	男	50	○	○				15,000	
18	腎臓病	佐藤 信洋	男	40	○	○				15,000	
19	腎臓病	赤神 幸男	男	56	○	○				15,000	
20	腎臓病	岡田 民雄	男	73	○	○				15,000	
21	腎臓病	木村 俊	女	51	○	○				15,000	
22	腎臓病	坂本 光子	女	53	○	○				15,000	
23	腎臓病	高藤 静江	女	55	○	○				15,000	

No.	部 会	氏 名	性 別	年 令	バ ス		電 話 番 号	備 考	住 所	参 加 費	部 屋 番 号
					行	帰					
24	腎臓病	伊達千代子	女	53	○	○				15,000	
25	腎臓病	渡辺 喜久	女	51	○	○				15,000	
26	腎臓病	竹内 靖子	女	51	○	○				15,000	
27	腎臓病	上田 弘	男	48	○	○				15,000	
28	腎臓病	上田 房枝	女	48	○	○				15,000	
29	腎臓病	上田 知恵	女	22	○	○				15,000	
30	腎臓病	上田 修	男	20	×	×		旭川バス利用 二泊		25,000	
31	一般	佐藤 芳勝	男		×	×		車・一泊		9,800	
32	一般	佐藤 邦子	女		×	×		車・一泊		9,800	
33	保健婦	若狭 節子	女		○	○					
34	保健婦	阿部 祥美	女		○	○					
35	厚岸・膠原病	小野夕美子	女		○	×		2泊・帰J R利用		22,000	
36	厚岸・膠原病	小野 知子	女		○	×		2泊・帰J R利用		22,000	
37	厚岸・膠原病	小野美知子	女		○	×		2泊・帰J R利用		22,000	
38	厚岸・膠原病	一条 直美	女		○	○		一泊・小野妹		15,000	
39	根室・バングヤ	木村 猛雄	男		○	○				15,000	
40	根室・バングヤ	木村みどり	女		○	○				15,000	
41	根室・一般	船橋 静子	女		○	○				15,000	
42	根室・一般	柳谷 紀子	女		○	○				15,000	
43	根室・腎臓病	岡田 昌治	男		×	×		車・一泊		9,800	
44	リウマチ	高谷 清美	女		○	○		TELにて申し込み		15,000	
45	リウマチ	高谷 美幸	女	10	○	○		TELにて申し込み		10,000	
46	厚岸・肝炎	三浦 保子	女	51	○	×		2泊		23,000	

※分科会・交流会一覧表・関係分のみ

担当部会名	内容	講師名	所	属	テ	ー	マ	会場
稀少難病者	講演会	吉田 典代先生	札幌厚生病院	栄養課長	難病患者の食事について			中・3D
膠原病	講演会	中井 秀紀先生	勤医協中央病院	副院長	膠原病の最新情報			中・2A
パーキンソン病	講演会	松浦 亨先生	北大病院	神経内科	より良いパーキンソン病患者であるための心構え			視聴覚室
リウマチ	講演会	今野 孝彦先生	篠路病院	副院長	薬の副作用とその対策			セ会議室
		小森 吉夫先生	帯広厚生病院	副院長	最新の整形外科的手術について			
ウイルス肝炎	講演会	美馬 聡昭先生	勤医協中央病院	内科医長	肝炎はなぜ広がったか			中美術室
腎臓病	講演会	中尾 昭洋先生	帯広クリニック	院長	長期透析患者に於ける合併症について			ふれあい
脊髄小脳変性症	講演会	佐々木秀直先生	北大病院	神経内科	脊髄小脳変性症の原因と治療について			中・1D
パーチャット病	交流会							中・2C
パージャー病	講演会	黒島振重郎先生	帯広厚生病院	院長	パージャー病あれこれ			中・1C
視覚リハ協会	交流会	新井 久子先生	道視覚リハビリ協会					中・2B
一般交流会	相談交流会	服部 雅之先生	道医療社会事業協会東支部		病気と福祉の制度・一人一人相談に答えます			中研修室

中は共栄中学校 ・ セは文化センター ・ 腎臓病は文化センターのふれあいホール ・ パーキンソン病は共栄中学校の視聴覚教室  
 スライド使用部会は・・・パーキンソン病・リウマチ・脊髄小脳変性症・パージャー病